

# 京都大学 芦生研究林 100周年記念

設立100周年を記念して  
キャンペーン実施中

2020年8月10日～  
(返礼品がなくなり次第終了)

みなさまのご支援が これからの芦生研究林をつくれます。  
芦生研究林基金へのご寄付をお願いいたします。



## 京都大学芦生研究林 とは

- ・大学の研究・教育のため、1921年（大正12年）に芦生演習林として設立されました。
- ・現在、年間約3,000人の学生や研究者が利用し、20件を超える実習が行われ、国際的なプロジェクトや長期モニタリングが実施されています。また、市民にも開放しており、年間約7,000人が訪れています。
- ・広大な原生的な森が今なお残っており、生物多様性保全の面からも重要な地域です。
- ・ご寄付により、希少な植物の保全、学生宿泊所の改修、若手研究者の育成を進めます。

# 芦生研究林の豊かな森の危機



▲ 1990年代の研究林

▲ 2008年の研究林

1990年代後半から、多くの植物がシカに食べられ、見られなくなりました。昆虫などの様々な生き物や、土壌や川の水にも影響がでています。

そこで研究者・関係機関と協力しながら、植物の保護柵を設置し、シカの捕獲を行ってきました。しかし、芦生研究林の総面積4200haのうち1%も守れていません。さらに生態系の回復力も低下してきています。

今、保全と再生に向けた取り組みを加速させなければ、

永久にこの貴重な森は失われてしまうかもしれません。

## ご寄付の使いみち

皆さまからいただいたご寄付により、次の事業を進めます。

### 希少植物の保全

事務所横にミニ植物園を作り、希少種を保全しつつ、皆様にも見ていただけるようにします。



ゼンテイカ

### 学生宿泊所の改修

研究林に来る学生も多様化しています。トランジェンダーや、留学生などの学生さんも使えるように、共同トイレの個室化、老朽化した宿泊所の改修を進めます。



学生宿泊所

### 若手研究者の育成

若手研究者助成金制度を、2019年よりはじめました。自然科学だけではなく、人文科学や学際研究なども支援します。



森林での調査



ミズメ

トチノキ

ホオノキ

ブナ

ミズナラ

イタヤカエデ

ケヤキ

クリ

## ご寄付いただいた方へのお礼

寄付金額に応じ、3種類のお礼をご用意しました。（任意の金額でもありがたくお受けいたします）

5,000円～

天然アシウスギ コースター  
（\*のいずれか1枚）

樹種のご指定はできません

50,000円～

天然アシウスギ コースター  
（8種類 1セット）

挟み込んだ広葉樹8種類の木目の  
違いをお楽しみいただけます。

500,000円～

天然アシウスギ  
コースター（8種類1セット）  
+

林長がご案内する芦生研究林ツアー  
ペアチケット（先着5組）

研究林の見どころをご案内する  
少人数ツアーを実施します。

※コロナウィルスの感染状況により、  
不確行となる場合がございます。

\*アシウスギに挟み込んでいる広葉樹はトチノキ、ミズメ、ブナ、  
ホオノキ、ミズナラ、イタヤカエデ、クリ、ケヤキ の8種類です

- 2017年、台風で樹齢150年を超えるアシウスギの大木が倒れてしまいました。
- この木を使ってお礼の品にしたいと考え、研究林内に生育する広葉樹を挟み込み、感謝の思いを込めて作りました。
- アシウスギや多様な広葉樹の生える芦生研究林の森をイメージしました。

## ご寄付はこちらから

※ご寄付に対しましては、法人税法、所得税法による税制上の優遇措置が受けられます。

以下URLもしくは右のQRコードを読み取り、芦生研究林基金 寄付金サイトへ。

寄付額・決済方法等をご選択ください。 <http://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/asiufund/asiu100th/#a1>

お問い合わせ先：京都大学フィールド科学教育研究センター 芦生研究林

TEL : 0771-77-0321

Mail : asiufund@kansai.kyoto-u.ac.jp



アシウスギ

芦生研究林を訪れた中井博士によって1941年に命名。日本海側の多雪地に自生するスギの品種。雪の重みに耐えるよう、枝は垂れ、地面に接したところから根を出して増える点が特徴的です。